

虐待が起こった家族の理解と支援

児童虐待に関する痛ましい事件が今日も報じられています。2020 年度、児童相談所による児童虐待相談対応件数は 20 万件を超えました。わが国における児童虐待の支援は、長年子どもの保護とケアが支援の中心でしたが、予防、在宅支援へと舵が切れ、今後ますます、家族を分離せず、家族機能を向上させる支援が求められています。ソーシャルワークや個人への支援に加えて、子どもと保護者の関係性、家族全体や世代を超えた関係性への支援に関する視点が不可欠であり、家族システム論に基づくケアが望まれます。

児童虐待は、児童福祉領域で働く心理職は元より、心理臨床の現場でクライアントと関わる中で、誰もが対応する可能性のある問題です。今回の研修では、児童虐待に関する支援の理論的視点を踏まえて、子どもと家族への統合的な心理的支援のあり方を、架空事例を通して、実践的な観点から提示します。特に、虐待が生じている背景に関するアセスメントと、合同面接の導入や実践のポイントを中心にお話する予定です。オンラインではありますが、グループワークやロールプレイを多用しますので、児童福祉領域に関心のある初学者や実践家、教育・医療・司法等の現場で、家族と関わる中で生じた児童虐待の問題に対応される実務家、また、被虐待経験を持つクライアントへの支援の機会のある方など、児童虐待とその関連領域の実践家の皆さんの意欲的な参加をお待ちしています。

記

講 師：大塚 斉（埼玉県立大学）・田附 あえか（大正大学）

日 時：【A. ライブ配信＋録画視聴】2023 年 9 月 10 日（日）10:00～16:00（昼食 1 時間）
【B. 録画視聴のみ】2023 年 9 月 26 日（火）0：00～10 月 26 日（木）23：55

定 員：【A. ライブ配信＋録画視聴】100 名
【B. 録画視聴のみ】は人数制限無し

内 容：児童虐待の基礎（簡略に）

児童虐待の支援に必要な理論と視点：ケアに関する理論の概観

児童虐待が生じた家族への心理的支援：架空事例を提示し、アセスメントのポイントを提示する。また事例を用いてロールプレイなどを行い、家族合同面接の実践的ポイントを伝える。

申込期限：

【A. ライブ配信＋録画視聴】2023 年 9 月 4 日（月）23：55 締め切り
【B. 録画視聴のみ】2023 年 9 月 25 日（月）23：55 締め切り

参加区分と参加費：【A. ライブ配信＋録画視聴】と【B. 録画視聴のみ】は同一料金です。

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000 円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000 円
- ③ 一般参加者：10,000 円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2 ポイント
- * 臨床心理士；2 ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。